

決算短信補足資料

(2019年3月期決算)

2019年4月26日
西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期 通期実績 B	対前年		2020年3月期 通期予想 C	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
【連結】							
営業収益	15,004	15,293	+288	101.9	15,575	+281	101.8
営業利益	1,913	1,969	+55	102.9	1,980	+10	100.5
経常利益	1,777	1,833	+55	103.1	1,845	+11	100.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,104	1,027	▲ 77	93.0	1,185	+157	115.3
【単体】							
営業収益	9,762	9,809	+46	100.5	10,010	+200	102.0
運輸収入	8,678	8,734	+56	100.6	8,950	+215	102.5
営業費用	8,319	8,301	▲ 17	99.8	8,495	+193	102.3
人件費	2,214	2,158	▲ 56	97.5	2,175	+16	100.8
物件費	4,076	4,166	+90	102.2	4,255	+88	102.1
動力費	440	452	+11	102.7	475	+22	104.9
修繕費	1,614	1,640	+25	101.6	1,705	+64	103.9
業務費	2,021	2,073	+52	102.6	2,075	+1	100.1
減価償却費	1,368	1,343	▲ 24	98.2	1,410	+66	104.9
営業利益	1,443	1,507	+63	104.4	1,515	+7	100.5
経常利益	1,286	1,364	+78	106.1	1,375	+10	100.7
当期純利益	807	806	▲ 1	99.8	950	+143	117.8

2. 単体損益計算書

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	9,762	9,790	9,809	+46	100.5	+19
運輸収入	8,678	8,710	8,734	+56	100.6	+24
その他収入	1,084	1,080	1,074	▲ 9	99.1	▲ 5
営業費用	8,319	8,340	8,301	▲ 17	99.8	▲ 38
人件費	2,214	2,165	2,158	▲ 56	97.5	▲ 6
物件費	4,076	4,200	4,166	+90	102.2	▲ 33
動力費	440	455	452	+11	102.7	▲ 2
修繕費	1,614	1,665	1,640	+25	101.6	▲ 24
業務費	2,021	2,080	2,073	+52	102.6	▲ 6
線路使用料等	302	275	272	▲ 29	90.2	▲ 2
租税公課	357	355	360	+3	100.9	+5
減価償却費	1,368	1,345	1,343	▲ 24	98.2	▲ 1
営業利益	1,443	1,450	1,507	+63	104.4	+57
営業外損益	▲ 157	▲ 140	▲ 142	+14	90.6	▲ 2
営業外収益	62	75	75	+13	-	+0
営業外費用	219	215	217	▲ 1	-	+2
経常利益	1,286	1,310	1,364	+78	106.1	+54
特別損益	▲ 92	▲ 250	▲ 206	▲ 114	-	+43
特別利益	298	-	276	▲ 22	-	-
特別損失	390	-	482	+91	-	-
当期純利益	807	740	806	▲ 1	99.8	+66

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2019年3月期 通期実績					
		対前年	主な増減要因				
新幹線	4,570	+93 (102.1%)	基礎トレンド(101.5%)	+67			
			特殊要因	・インバウンド	+15		
				・多客期好調	+24		
				・雪害反動	▲ 1		
				・大阪北部地震	▲ 4		
				・平成30年7月豪雨	▲ 21		
				・台風21号・その他	+7		
				等			
			在来線	3,081	▲8 (99.7%)	基礎トレンド(99.9%)	▲ 2
						特殊要因	・インバウンド
・多客期好調	+4						
・雪害反動	+3						
・大阪北部地震	▲ 4						
・平成30年7月豪雨	▲ 15						
・台風21号・その他	▲ 14						
等							
その他	1,082	▲28 (97.4%)				基礎トレンド(99.4%)	▲ 7
						特殊要因	・インバウンド
			・多客期好調	+1			
			・雪害反動	+5			
			・大阪北部地震	▲ 1			
			・平成30年7月豪雨	▲ 27			
			・台風21号・その他	▲ 3			
			等				
在来線計	4,163	▲37 (99.1%)					
運輸収入計	8,734	+56 (100.6%)					

※荷物収入は金額些少のため省略

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位：億円)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年
全社計	8,678	8,734	+56 100.6%	2,085	2,130	+45 102.2%
新幹線	4,477	4,570	+93 102.1%	1,061	1,088	+26 102.5%
定期	107	112	+4 103.9%	26	27	+1 104.5%
定期外	4,369	4,458	+88 102.0%	1,034	1,060	+25 102.5%
在来線	4,200	4,163	▲37 99.1%	1,024	1,042	+18 101.8%
定期	1,420	1,413	▲7 99.5%	340	338	▲2 99.3%
定期外	2,779	2,749	▲29 98.9%	683	704	+20 103.0%
近畿圏	3,090	3,081	▲8 99.7%	752	768	+15 102.1%
定期	1,169	1,166	▲2 99.7%	281	280	▲1 99.5%
定期外	1,920	1,914	▲5 99.7%	470	488	+17 103.7%
その他	1,110	1,082	▲28 97.4%	271	273	+2 100.8%
定期	251	246	▲4 98.4%	58	57	▲0 98.5%
定期外	859	835	▲24 97.2%	212	215	+3 101.5%

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年
全社計	59,291	59,379	+87 100.1%	14,074	14,238	+164 101.2%
新幹線	21,022	21,338	+315 101.5%	4,958	5,088	+130 102.6%
定期	846	880	+33 104.0%	204	215	+10 105.3%
定期外	20,176	20,457	+281 101.4%	4,753	4,873	+119 102.5%
在来線	38,269	38,040	▲228 99.4%	9,115	9,149	+33 100.4%
定期	22,831	22,751	▲79 99.7%	5,301	5,296	▲4 99.9%
定期外	15,437	15,289	▲148 99.0%	3,814	3,853	+38 101.0%
近畿圏	29,872	29,797	▲74 99.8%	7,118	7,160	+41 100.6%
定期	18,787	18,766	▲21 99.9%	4,397	4,401	+4 100.1%
定期外	11,084	11,031	▲52 99.5%	2,721	2,759	+37 101.4%
その他	8,397	8,243	▲153 98.2%	1,997	1,989	▲8 99.6%
定期	4,043	3,985	▲57 98.6%	904	895	▲9 99.0%
定期外	4,353	4,257	▲95 97.8%	1,092	1,094	+1 100.1%

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2019年3月期 通期実績	
	対前年	主な増減要因
人件費	2,158 ▲ 56 (97.5%)	・単価減 等
動力費	452 +11 (102.7%)	・燃料費調整額増 等
修繕費	1,640 +25 (101.6%)	・設備投資関連工事増 等
業務費	2,073 +52 (102.6%)	・豪雨災害に係るバス代行経費 等
線路使用料等	272 ▲ 29 (90.2%)	・JR東西線線路使用料減 等
租税公課	360 +3 (100.9%)	
減価償却費	1,343 ▲ 24 (98.2%)	・償却進捗 等
営業費用計	8,301 ▲ 17 (99.8%)	

6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	15,004	15,165	15,293	+288	101.9	+128
営業費用	13,090	13,290	13,323	+232	101.8	+33
営業利益	1,913	1,875	1,969	+55	102.9	+94
営業外損益	▲ 135	▲ 135	▲ 136	▲ 0	100.3	▲ 1
営業外収益	90	86	94	+3	-	+8
営業外費用	226	221	230	+3	-	+9
経常利益	1,777	1,740	1,833	+55	103.1	+93
特別損益	▲ 71	▲ 300	▲ 261	▲ 190	-	+38
特別利益	328	-	290	▲ 38	-	-
特別損失	399	-	552	+152	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,104	955	1,027	▲ 77	93.0	+72
包括利益	1,141	-	1,048	▲ 93	91.8	-

7.セグメント情報

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 ^{*1}	15,004	15,165	15,293	+288	101.9	+128
運輸業	9,508	9,530	9,539	+30	100.3	+9
流通業	2,398	2,448	2,455	+57	102.4	+7
物販・飲食	1,617	1,670	1,700	+83	105.2	+30
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	【116】	【127】	【131】	【+14】	【112.6】	【+4】
百貨店	701	691	671	▲ 30	95.7	▲ 19
不動産業	1,396	1,478	1,485	+88	106.3	+7
ショッピングセンター	596	607	615	+19	103.3	+8
不動産賃貸・販売	781	851	849	+68	108.8	▲ 1
【不動産販売】(再掲)	【350】	【407】	【394】	【+44】	【112.6】	【▲ 13】
その他	1,700	1,709	1,813	+113	106.7	+104
ホテル	356	361	356	▲ 0	100.0	▲ 4
旅行	413	399	405	▲ 8	98.0	+6
営業利益 ^{*1}	1,913	1,875	1,969	+55	102.9	+94
運輸業	1,303	1,306	1,362	+59	104.6	+56
流通業	72	57	61	▲ 11	84.2	+4
物販・飲食	60	44	49	▲ 11	81.2	+5
百貨店	9	10	10	+0	103.6	+0
不動産業	357	334	356	▲ 0	99.7	+22
ショッピングセンター	87	85	96	+9	110.6	+11
不動産賃貸・販売	173	156	182	+8	105.1	+26
その他	199	211	212	+13	106.6	+1
ホテル	19	14	10	▲ 9	54.1	▲ 3
旅行	2	3	2	▲ 0	80.2	▲ 0

*1 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

*2 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2019年3月期 通期実績			主な増減要因
			対前年			
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,700	+83	105.2	・セブン-イレブン提携店舗好調 等
		営業利益	49	▲ 11	81.2	・宿泊特化型ホテル開業経費 等
	百貨店	営業収益	671	▲ 30	95.7	・自然災害、リニューアル工事支障 等
		営業利益	10	+0	103.6	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	615	+19	103.3	・ルクア1100 B1,B2リニューアル 等
		営業利益	96	+9	110.6	
	不動産賃貸・販売	営業収益	849	+68	108.8	・販売戸数増、賃貸物件開業 等
		営業利益	182	+8	105.1	
その他	ホテル	営業収益	356	▲ 0	100.0	・自然災害、開業経費 等
		営業利益	10	▲ 9	54.1	
	旅行	営業収益	405	▲ 8	98.0	・国内旅行軟調 等
		営業利益	2	▲ 0	80.2	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

9.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2018年3月期 期末 A	2019年3月期 期末 B	増減 B-A
資産*	30,718	32,375	+1,657
負債*	19,555	20,577	+1,022
純資産	11,163	11,798	+635
長期債務残高	10,322	10,640	+317
【長期債務平均金利 (%)】	【1.86】	【1.81】	【▲0.05】
新幹線債務	1,038	1,029	▲9
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	5,249	5,699	+450
【社債平均金利 (%)】	【1.58】	【1.51】	【▲0.07】
自己資本比率 (%) *	33.2	33.3	+0.1
1株当たり純資産 (円)	5,273.42	5,612.63	+339.21

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	2,751	2,897	+146
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,663	▲ 2,474	▲810
フリーキャッシュフロー	1,087	423	▲664
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 714	▲ 71	+642
現金及び現金同等物の増減	381	351	▲29
現金及び現金同等物の期末残高	1,014	1,365	+351

*「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を2018年3月期期末の貸借対照表残高に遡及適用しております。

10.単体業績予想

(単位：億円)

	2019年3月期 通期実績 A	2020年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	9,809	10,010	+200	102.0
運輸収入	8,734	8,950	+215	102.5
その他収入	1,074	1,060	▲ 14	98.7
営業費用	8,301	8,495	+193	102.3
人件費	2,158	2,175	+16	100.8
物件費	4,166	4,255	+88	102.1
動力費	452	475	+22	104.9
修繕費	1,640	1,705	+64	103.9
業務費	2,073	2,075	+1	100.1
線路使用料等	272	285	+12	104.6
租税公課	360	370	+9	102.6
減価償却費	1,343	1,410	+66	104.9
営業利益	1,507	1,515	+7	100.5
営業外損益	▲ 142	▲ 140	+2	98.3
営業外収益	75	70	▲ 5	-
営業外費用	217	210	▲ 7	-
経常利益	1,364	1,375	+10	100.7
特別損益	▲ 206	▲ 15	+191	-
特別利益	276	-	-	-
特別損失	482	-	-	-
当期純利益	806	950	+143	117.8

11.運輸収入の見通し

(単位：億円)

		2020年3月期 通期見通し				
		対前年	主な増減要因			
新幹線	4,666	+95 (102.1%)	基礎トレンド(100.6%)		+28	
			特殊要因	・インバウンド	+21	
				・曜日配列	+7	
				・うるう年	+10	
				・災害反動	+18	
等						
在来線	近畿圏	+86 (102.8%)	基礎トレンド(99.8%)		▲ 5	
			特殊要因	・インバウンド	+21	
				・曜日配列	+4	
				・うるう年	+4	
				・災害反動	+34	
	等					
	その他	1,115	+33 (103.1%)	基礎トレンド (99.5%)		▲ 5
				特殊要因	・インバウンド	+2
					・曜日配列	+1
					・うるう年	+2
・災害反動					+31	
等						
在来線計		4,283	+119 (102.9%)			
運輸収入計		8,950	+215 (102.5%)			

※ 荷物収入は金額些少のため省略

12.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

	2020年3月期 通期見通し		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,175	+16 (100.8%)	・シニア社員・契約社員等待遇改善 等
動力費	475	+22 (104.9%)	・災害反動 等
修繕費	1,705	+64 (103.9%)	・設備投資関連工事増 等
業務費	2,075	+1 (100.1%)	
線路使用料等	285	+12 (104.6%)	・おおさか東線全線開業 等
租税公課	370	+9 (102.6%)	・固定資産税増 等
減価償却費	1,410	+66 (104.9%)	・新車投入 等
営業費用計	8,495	+193 (102.3%)	

13.連結業績予想

(単位：億円)

	2019年3月期 通期実績 A	2020年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	15,293	15,575	+281	101.8
営業費用	13,323	13,595	+271	102.0
営業利益	1,969	1,980	+10	100.5
営業外損益	▲ 136	▲ 135	+1	99.1
営業外収益	94	89	▲ 5	-
営業外費用	230	224	▲ 6	-
経常利益	1,833	1,845	+11	100.6
特別損益	▲ 261	▲ 60	+201	-
特別利益	290	-	-	-
特別損失	552	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,027	1,185	+157	115.3
1株当たり当期純利益 (円)	533.31	616.06	-	-

14.連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

	2019年3月期 通期実績 A	2020年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 ^{*1}	15,293	15,575	+281	101.8
運輸業	9,539	9,742	+202	102.1
流通業 ^{*2}	2,455	2,377	▲ 78	96.8
物販・飲食 ^{*2}	1,700	1,560	▲ 140	91.7
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*3}	【131】	【166】	【+35】	【126.7】
百貨店	671	725	+53	108.0
不動産業	1,485	1,623	+137	109.3
ショッピングセンター	615	624	+8	101.3
不動産賃貸・販売	849	979	+129	115.2
【不動産販売】(再掲)	【394】	【505】	【+111】	【128.2】
その他	1,813	1,833	+19	101.1
ホテル	356	391	+34	109.7
旅行	405	412	+6	101.6
営業利益 ^{*1}	1,969	1,980	+10	100.5
運輸業	1,362	1,367	+4	100.3
流通業	61	64	+2	104.2
物販・飲食	49	50	+0	101.2
百貨店	10	11	+0	107.4
不動産業	356	363	+6	101.7
ショッピングセンター	96	82	▲ 14	85.0
不動産賃貸・販売	182	189	+6	103.6
その他	212	216	+3	101.5
ホテル	10	11	+0	102.4
旅行	2	5	+2	227.8

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 2020年3月期より駅ナカテナントとの契約方式変更に伴い収益計上方法を変更しております。なお、この変更に伴う営業利益への影響はありません。

^{*3} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

15.各セグメントの見通し

(単位：億円)

			2020年3月期 通期見通し			
			対前年		主な増減要因	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,560	▲ 140	91.7	・駅ナカテナントとの契約方式変更に伴う収益計上方法の変更 等
		営業利益	50	+0	101.2	
	百貨店	営業収益	725	+53	108.0	・リニューアル開業平年度化 等
		営業利益	11	+0	107.4	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	624	+8	101.3	・京都リニューアル開業平年度化 等
		営業利益	82	▲ 14	85.0	・岡山駅ナカリニューアル支障、芦屋リニューアル休業 等
	不動産賃貸・販売	営業収益	979	+129	115.2	・販売戸数増 等
		営業利益	189	+6	103.6	
その他	ホテル	営業収益	391	+34	109.7	・ヴィスキオ京都新規開業 等
		営業利益	11	+0	102.4	
	旅行	営業収益	412	+6	101.6	
		営業利益	5	+2	227.8	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

16. 諸元表

(単位：人、億円)

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想
連結ROA (%) ^{*1}	6.3	6.2	6.1
連結ROE (%)	11.3	9.8	10.6
連結EBITDA ^{*2}	3,561	3,613	3,712
連結減価償却費	1,635	1,631	1,720
連結設備投資 (自己資金)	1,694	2,453	2,780
単体設備投資 (自己資金)	1,278	1,909	2,090
安全関連投資	832	1,252	1,200
1株当たり配当金 (円)	160	175	190

	2018年3月期 通期実績		2019年3月期 通期実績		2020年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	47,869	25,291	47,842	24,866	—	—
金融収支	▲ 202	▲ 196	▲ 188	▲ 177	▲ 190	▲ 173
受取利息・配当金	7	12	11	22	8	24
支払利息	209	208	200	200	198	198

*1「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を2018年3月期期末の貸借対照表残高に遡及適用しております。

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2019年4月26日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2019年4月26日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>